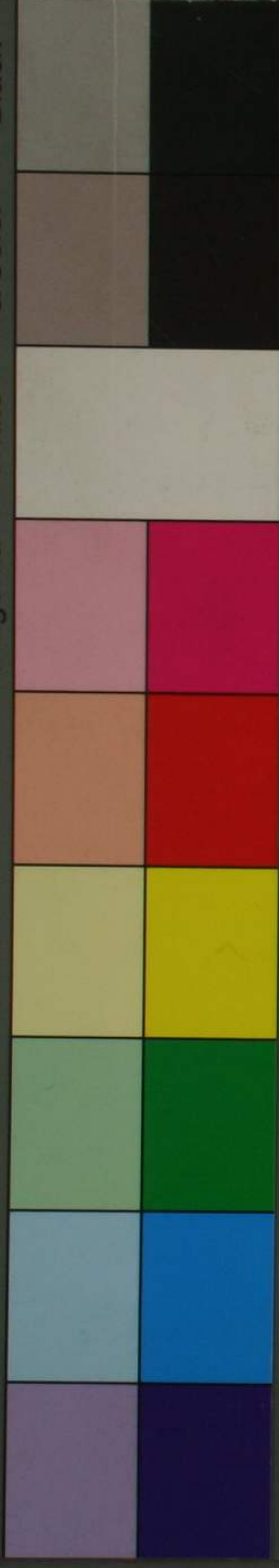


KODAK Color Control Patches
© The Tiffen Company, 2000
LICENSED PRODUCT



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 B 13 14 15 17 18 19

日本地誌要畧

大槻修二編

卷一
總論
畿内
東海

ル 3
2132
1



1483
2132
1-3

大槻修二編

卷一

日本地誌要略

明治九年六月
青山紅樹書樓藏版

日本國全圖



日本國全圖

日本地誌要略圖

大槻修二郎編



總論

我大日本國ハ亞細亞ノ東邊ニシテ、太平洋ノ西

大正二年五月
長谷川誠也

北ニアル鳥國ナリ、國ハ四島ニ分レ、中央ノ一島
頗大ナリ、北ニ一島アリ、西ニ二島アリ、其他數千
ノ小島是ニ屬ス、全國ヲ大別シテ九部トナシ、一
畿八道ト稱ス、建メ合テ八十四國七百二十郡ニ
シテ、國ハ郡ヲ統ベ、道ハ國ヲ總テ、琉球諸島ハ屬
島ニシテ此例ニズナクバ、

畿内五國五十五郡

山城 大和 河内 和泉 攝津

東海道十五國百二十九郡

伊賀 伊勢 志摩 尾張 三河 遠江 駿河

甲斐 伊豆 相模 武藏 安房 上總 下總

常陸

東山道十三國百三十二郡

近江 美濃 飛驒 信濃 上野 下野 磐城

岩代 陸前 陸中 陸奥 大羽前 二羽後

北海道十一國八十九郡

渡鳥 後志 石狩 平天鹽 阿比 膽振 日高

七勝 釧路 根室 千島

北陸道七國三十三郡 四十六里 六十里 六十里

若狹 越前 加賀 能登 越中 越後 佐渡

山陰道八國五十三郡

丹波 丹後 但馬 因幡 伯耆 出雲 石見

隱岐

山陽道八國八十一郡

播磨 美作 備前 備中 備後 安藝 周防

長門

南海道六國五十一郡

紀伊 淡路 阿波 讚岐 伊豫 土佐

西海道十一國九十七郡

筑前 筑後 豐前 豐後 肥前 肥後 日向

大隅 薩摩 壹岐 對馬

位置ハ北緯二十九度ヨリ起リ、五十一度ニ至ル

經度ハ東京ノ東十六度ニ起リ、西ハ十七度ニ至

ル、幅員ハ二萬三千七百四十方里ニシテ、人口凡

三千三百十七萬アリ、

境界ハ東南共ニ太平洋ニ向ヒ、西ハ支那海ヲ隔

テ、清國ニ對シ、北ハ滿州ト日本海ヲ包ム、西海

ノ間ニ對馬島アリ、朝鮮ト海峡ヲ夾ム、北隅ハ魯

西亞ノ樺太島ト、宗谷海峡ヲ隔テ、阿哥斯科海

ニ臨ム、東北ナル千島ハ二十島嶼ヲ連接シテ、亦

魯西亞ノ甘察加ニ接ス、正南ハ小笠原島ハ太平

洋中ニ並ビ、西南ハ琉球群島ハ臺灣島ニ接近ス、

中央ハ大島ハ即國ノ中土ニシテ、畿内及五道其

中ニアリ、地勢北ヨリ南ニ亘ルニ百里、折レテ西

東赴クニ百八十里、周回千九百里、其幅一ナラズ、

廣ハ九十里ニ至リ、狹セ亦三十里、故ニ其形、狹長

四國島名ニ
引之馬

ニシテ蛟龍ノ身ヲ起スガ如ク、畿内ヲ腰トナシ、
東山道其東ニ連リ、東海、北陸ノ兩道ヲ左右ノ脇
トナシテ、脊梁ノ地位ニ亘ル、鱗ニ至リ折レテ北
ニ赴ク、左右皆海ナリ、首ニ大灣アリ、其狀、口ヲ開
クガ如シ、安房能登ノ二岬ハ、兩足ノ狀ヲナシ、一
ハ東ニ向ヒ、一ハ西ニ向フ、近江ノ大湖ハ、其臍ニ
當レリ、山陰、山陽ノ二道ハ尾ニ屬シテ其幅、漸狹
シ、夫龍ヲ畫クニ三停ノ法アリ、首、髀、腰、尾ノ間其
長各均シト、此狀是ヲ得タリ、
西ノ二島ハ西ナル者、頗大ナリ、是ヲ西海道トナ

ス、壹岐、對馬是ニ屬ス、又西國ノ稱アリ、周回八百
五十里ニシテ、南北八十里、東西三四十里ニ及ブ、
中ニ九國アリ、故ニ九州ト云フ、其形ハ猿猴ノ立
チテ舞フガ如シ、○東ナル者ハ漸小ニシテ、島中
ニ國四箇アリ、故ニ四國ト云フ、東西七十里、南北
三四十里ニシテ、周回四百五十里、其形、蝙蝠ノ翼
ヲ張ルガ如シ、此島ハ畿内ノ南ナル紀伊、淡路ヲ
并セテ、南海道トナス、
北ハ一島ヲ北海道トナス、千島ハ別ニ連島タリ、
島形ハ赤鱗ノ尾ヲ振フガ如シ、周回五百七十里

ニシテ、其東西ハ百六十里アリ、南北モ亦百廿里
ニ及ブ、此地古ハ蝦夷地ト称シテ、國土ノ境界定
マラザリシガ、數年前ニ國郡ヲ分チ、改メテ一道
トナス、
地方ノ稱呼ハ八道ノ名アレ氏、畿内ヲ上方ト唱
へ、山陰、山陽ヲ中國ト稱シ、北陸ヲ北國ト云フノ
類、又東山道ヲ兩分シ、東北二道ノ間ヲ中山道ト
唱へ、左右海ヲ受クル所ハ奥羽ト稱ス、其關東
ハ海、山兩道ノ東端ニシテ、更ニ奥羽ヲ并セテ又
東國トモ呼バ、四國、九州及西國ノ稱モ亦此類ナ

リ、○國名ヲ呼ブモ某州ト唱フル者常ニ多シ、畿
内ニハ大和ヲ和州ト云ヒ、攝津ヲ攝州ト云フ、東
海ニハ勢州、尾州、遠州ト呼ビ、東山ニハ江州、濃州、
信州ト唱フ、中國モ因州、雲州、播州、藝州、長州ノ稱
ヲ用キ、南海ノ紀州、土州、西海ノ薩州、對州ノ類皆
通ズ、而テ前後ニ分テル國ハ其稱ナシト雖氏、上
野ヲ上州ト呼ビ、下野ヲ野州ト唱フル類アリ、
抑我國ハ西ヨリ開ケ始メテ、次第ニ東ニ及ブ者
ニシテ、神代三世ハ日向ニ居給ヒ、神武帝ニ至リ
軍ヲ起シテ東征シ、土夷ヲ平ゲ、遂ニ都ヲ大和ニ

定ハ、此時ハ今ノ西國、中國、及畿内近傍ノ國々ノ
ミニシテ、尾州、濃州以東及北國ノ地ハ悉蝦夷地
ナリ、其後六百年ヲ歷テ崇神帝ノ時、將軍ヲ遣シ
其地ヲ平ケ、景行帝復、武内宿禰ヲシテ、其地形風
俗ヲ察セシメ、日本武尊ヲシテ是ヲ征セシムレ
ド、今ノ三陸、兩羽ノ地ハ尚是、蝦夷ナリ、○成務帝、
山川ヲ界シテ國縣ヲ建ツ、是ヨリ國土ノ區別、大
ニ定レリ、孝德帝、縣ヲ廢シテ郡ヲ置キ、畿内ヲ定
メ諸道ヲ分ツ、天武帝更ニ諸國ノ境界ヲ定ム、然
レト奥羽及ビ北海道ハ國モ郡モ定マラズ、阿倍

比羅夫、舟師ヲ率キテ、北國ヨリ蝦夷ヲ伐テ、秋田
野代、津輕ノ郡ヲ置キ、明年海ヲ渡リ、渡島、後志、膽
振ノ地ヲ定ム、實ニ齊明帝ノ六年ナリ、和銅五年
ニ出羽國ヲ置キ、神龜元年ニ多賀城ヲ築キ、天智
五年秋、田城ヲ築ク、此年代ハ蝦夷ノ亂ヲ為ス、每
ニ伐テ逐ヒテ、次第ニ土地ヲ廣メ、遂ニ延暦年間
ニ、坂上田村麻呂、征伐數年、悉是ヲ海島ニ追ヒ拂
キ、鎮守府ヲ置キテ是ヲ鎮ム、其後六百年ヲ過ギ、
武田信廣、若狭ヨリ渡島ハ北ヲ取リ、遂ニ蝦夷ヲ
服從セシメ、世々松前ニ居リ、全島ヲ領ス、明治元

也 志 要 名 卷 之 一 總 論 六

年奥羽ヲ分チテ七國トナシ、明年、北海道十一國
ヲ定ム、其五年、琉球、全ク屬ス、府、縣及藩、使ヲ置キ
全國ヲ分チ沼ム、
府ハ三ニシテ東京、西京、大坂ナリ、縣ハ其始七十
二縣ナリシガ、或ハ并セ或ハ廢シ、明治七年ハ六
十縣ナリ、而テ琉球ハ藩ヲ建テ、北海道ハ開拓使
ニ付ス、別ニ開港場五處アリ、外國ト交易スル地
タリ、即武蔵ノ横濱、攝津ノ神戸、肥前ノ長崎、越後
ノ新潟、渡島ノ箱館是ナリ、

畿内全圖

畿内ハ山城、大和、河内、和泉、攝津ノ五國ナリ、故ニ
五畿内トモ云フ、諸道是ヨリ分ル、東ヲ東海、東山
ノ西道トナシ、西北ヲ山陰、山陽ノ二道トナシ、南
ハ南海道ヲ帯ビ、西南ノ隅ハ、僅ニ海ニ臨メリ、南
北五十七里、東西ハ二十里、歷朝ノ帝都、其處ヲ同
クセズト雖モ、大率皆五國ノ内ニ出デズ、
山城ハ八郡アリ、愛宕、葛野、七訓、紀伊、宇治、久世、
東綴喜、相樂是ナリ、
此國ハ山間ノ小國ナレドモ、中央外地ハ甚乎坦

ナリ、愛宕山ハ、西ニ在リテ丹波ニ接シ、比叡山ハ、東ニ聳エテ近江ニ跨ル、鞍馬山ハ、其間ニ峙チ、正北ヲ限ル、三山共ニ高峻ナリ、其他如意、高雄、嵐山ノ諸山、東西ニ竝ビ連リタリ、南ハ大和、伊賀ノ間ニ笠置山アリ、河内ノ境ニ洞峠アリ、此國舊名ヲ山背ト云ヒシガ、延暦十三年、桓武帝都ヲ此地ニ遷シ給ヒ、山河自然ニ城ヲナスヲ以テ、國名ヲ改メ都ヲ平安ト云フ、即今ノ京都是ナリ、加茂川又鴨川トモ云フ、鞍馬、比叡ノ両山ヨリ出ヅル者、相合フテ京都ヲ過ギ、白川ヲ併セ、西南ニ

流レテ桂川ニ入ル、瀬淺クシテ水極テ清冷ナリ、桂川ハ、上流ヲ大堰川ト云フ、丹波ヨリ来リ、高雄川ヲ并テ、嵐山ノ麓ヲ南ニ流ル、其水深クシテ亦潔シ、宇治川ハ、近江ヨリ出テ、西ニ流ル、川ノ左右ハ山水幽清ニシテ、其地茶ニ適ト、最名品トス、木津川ハ、大和、伊賀ヨリ来ル者、笠置山ノ麓ニ會シテ北ニ流ル、數川、淀ニ集リ、一ノ大河トナリ、西ニ流レテ攝津、河内ノ間ニ入リ、淀川ト云フ、八幡山、崎ノ間ハ、兩岸夾ミ對シ、頗要害地ナリ、山崎ニ天王山等ノ古戰場アリ、八幡ハ、男山ト云ヒ、石清

水社アリ、伏見ハ、淀川ノ北岸ニ在リテ、京都ヲ去ル僅ニ三里、通船常ニ大坂ニ往返ス、水程十里アリ、此地ハ豊臣太閤ノ居城ニシテ、今猶、桃山ト云フ、川ノ南岸ニ巨椽沼アリ、周回五里、俗ニ大池ト呼ブ、亦太閤ノ掘リ開キテ、淀川ノ水害ヲ防ギシ處ト云フ、京都ハ三府ノ一ニシテ、今、西京ト云フ、歷朝七十二帝、千七十四年間ノ皇居タリ、街市端正ニシテ、九條ノ大路アリ、古ハ左、右京ヲ置キ、羅城ヲ環シ、制度甚、廣大ナリシガ、今ハ僅ニ左京ヲ存スルノ

然レ、此ノ人口二十萬アリ、猶繁華ナル大都ニシテ、其風色ノ秀麗ナルハ、實ニ三府中ノ第一トス、加茂川ヲ以テ京ノ内外ヲ分テ、河ノ西ヲ洛中ト云フ、東ヲ洛東ト云フ、三條、四條、五條ノ大橋ヲ架久、洛東ハ、祇園、清水、華頂山、將軍塚、大佛殿、通天橋等ノ名勝アリ、總テ東山ト稱ス、○京ノ西北ハ、加茂ノ上流ニ、加茂上、下ノ社アリ、然野、大徳寺、北野天満社、蓮臺野、金閣寺、嵯峨、御室等ノ名蹟アリ、中ニモ、嵐山ノ櫻、高雄ノ紅葉ハ、殊ニ美景ニシテ、春秋ニハ、遊人甚賑ナリ、

大和ハ、添上、添下、平群、廣瀨、葛上、葛下、忍海、宇陀、
 吉野、宇陀、城上、城下、高市、十市、山邊ノ十五郡、
 神武帝ノ中州ヲ平ケ、始メテ皇居ヲ此國ノ橿原
 ニ置キ給フヤ、青山四周ト詔シ給ヘル國ニシテ、
 四面、海ナク、畿内中ノ大國ナリ、南方ヲ吉野山ト
 ナシ、東ハ高見、國見、三國ノ諸山相並ビテ、伊勢、伊
 賀ヲ限リ、西ハ葛城、二上、信貴、生駒、哮峯ノ山脈連
 リテ、河内ノ境ニ亘ル、
 吉野ハ、國ノ半ニ餘ル大郡ニシテ、南ハ紀伊ニ亘
 ル二十餘里、全郡皆山ナリ、大峯山上岳、金峰山等

相重リ、東ハ大臺原ニ連ル、大臺ハ南、中、北ノ三原
 ニ別レ、大和、紀伊、伊勢ハ三國ニ跨ル、深山中ノ高
 原ニシテ、瀑布殊ニ多ク、四十八瀧アリト云フ、水
 集リテ西ニ下リ、吉野ノ麓ヲ流シテ吉野川ト云
 七、紀伊ニ入リテ紀ノ川ト云フ、川ノ南ハ、湍山櫻
 樹ニシテ、謂ユル一目千本ノ勝アリ、○此地ハ、南
 朝三世、五十七年ノ行宮アリシ處ニシテ、後醍醐
 帝ノ山陵アリ、又、長峯ニ、大塔宮ノ城趾、村上父子
 戦歿ノ跡等猶存ス、山間ニ十津川アリ、源ヲ金峯
 ヨリ發シ、天川ト云フ、川ヲ夾ミテ村里アリ、土

猶南朝ノ遺民ト稱ス、水流ハ屈曲シテ南ニ下
北山川ヲ并セ、紀伊ノ熊野ニ出ヅ、成川是ナリ、
全國ノ水、吉野川ヨリ北ニアル者、初瀬川、佐保川、
龍田川、及廣瀬川、富川等、四方ヨリ来リ會シテ、西
ニ流レ河内ニ入ル、是ヲ大和川ト云フ、
奈良ハ又平城ト云フ、國ノ北境ニシテ、山城ニ近
ク、春日、若草ノ諸山其東ニ峙チ、佐保川其西ヲ流
レ、春日社、大佛殿、及興福寺等七大寺アリ、元明帝
ヨリ、七世八十四年間ノ都ナリシ地ニシテ、今ニ
南都ト稱ス、此國ハ橿原ノ宮ノ後モ、歷朝ノ皇居

國內ニ在ル者四十七、故ニ山陵亦多ク、神武帝ノ
陵ハ、造營新ニ成リテ甚廣壯ナリ、多武峯ニ鎌
足公ノ廟アリ、長谷ニ觀音堂アリ、其他三輪、龍田
ハ勝等數フルニ違アラズ、諸國ノ人来リテ、名所
舊跡ヲ遊覽スル者常ニ多以名ケテ大和巡ト云
ス、
河内ハ十六郡ニシテ、錦部、石川、古市、安宿、大縣、
高安、河内、讚良、茨田、交野、若江、澁川、志紀、丹南、丹
北、八上、川云フ、
此國モ亦海ナク、北ハ方ハ淀川ヲ夾ミテ、攝津

相對ス、國名ノ由リテ起ル所ナリ、
金剛山ハ、即大和ノ葛城山ニシテ、東南ニ高ク聳
エタリ、此山ハ楠正成ノ千早城址ニシテ、四面絶
壁ナリ、北條氏八十萬ノ兵ヲ以テ是ヲ攻メ、遂ニ
拔ク能サリシ處ナリ、此山ノ左右ヨリ、山脈相分
レテ、國ノ東南ニ繞リ連レリ、山路何レモ險ク、其
大和ニ往来スル處、金剛ニ上ノ兩山間ニ、平石、竹
内ノ諸峠アリ、信貴山ノ北ヲ十三峠ト云ヒ、生駒
山ノ南ヲ暗峠ト云フ、哮峰ノ北ニ岩舟峠アリ、而
シテ山脈ノ北端ヲ洞峠トナス、其紀伊ニ越ユル

路モ、紀見峠、藏王峠、九重峠等アリ、國境ハ總テ連
山ニテ打圍ミタレトモ、國中ハ平坦ニシテ、西ハ
直ニ攝津、和泉ニ亘レリ、
大和川ハ、二上、信貴兩山ノ間ヨリ来リ、國ノ中央
ヲ貫キテ西ニ流レ、狭山池ノ下流ヲ并セ、攝津、和
泉ノ境ヲ過ギテ海ニ入ル、此川ハ運漕ニ便ニシ
テ、舟常ニ往来ス、東條川ハ金剛山ヨリ出テ、西條
川ハ藏王峠、九重峠ニ發シ、相集リテ一トナル、兩
川相合ヒテ石川ト云ヒ、北ニ流レ、大和川ニ入ル、
長瀬、玉串ノ二川ハ、大和川ノ分流ニシテ、北ニ

リ哮峯ニ出ヅル、寢屋川ト相合ヒテ、平野ノ間
流レ、全國ノ水ヲ集メ、攝津ヲ過ギテ淀川ニ入ル、
其東北隅ニ天^テ川アリ、寢屋川ト源ヲ同クシテ、直
ニ淀川ニ入ル、川口ヲ牧^カ方ト云フ、淀川ノ要津ナ
リ、
狭山池ハ西境ニアリ、周回一里、南ニ天野山^ヤアリ、
山間ノ溪流、悉ク注キ入ル、昔、崇神帝ノ時、此地ノ
水、少クシテ、農業ニ妨アルニ因リ、詔シテ是ヲ作
ラシメ給フ、凡二千年ノ久、今猶其遺澤ニ頼ル、
和泉ハ、大鳥、和泉^和、南^南、日根^日ノ四郡アリ、

畿内中ノ最小ナル國ニシテ、古ハ河内ノ内ニテ
茅渚ト云フ、西ハ海ニ臨ミ、淡路島其前ニ横リ、一
ノ内海ヲナス、北ハ攝津ニ包マレ、南ハ紀伊ヲ限
ル、其間十八里、東西十里、古是ヲ茅渚ノ海ト云フ、
海岸ハ、佐野^サ、松原^ノ、高師濱^ノ等アリ、北ハ攝津ノ住吉
浦ニ連リ、風景頗美ナリ、
槇尾^ウ、牛瀧^ウ、葛城^ウ、犬鳴^ウノ諸山、東南ニ連リ、紀伊ノ境
ヲナス、山間ヨリ出ヅル所ノ川ハ、石津^イ、津田^ツ、岡田^オ、
界里^キノ諸川アレドモ、平時ハ水ナク、霖雨ノ後、山
水ノ流レ出ヅル路ナルノミ、

堺浦ハ大和川ノ川口ニ跨リ、攝津ノ境ナレバ此
名アリ、往時ハ外國ノ商船常ニ此港ニ来リテ交
易ヲナス、天正年間葡萄牙ノ人始メテ鐵砲ヲ傳
ヘシハ即此地ナリ、其後外國ノ渡来ヲ禁ゼラレ
シカド、猶富商舊家等令ニ存シ、土人多ク鐵器ヲ
製ス、又物農具等ヲ名産トス、大坂へ二里、兵庫へ
十里、運漕猶盛ナリ、

攝津ニ十二郡アリ、住吉東成、西成、島上、島下、豊
島、川邊、武庫、有馬、菟原、八部、能勢ト云フ
淀川ハ畿内中ノ大河ニシテ水流二十里ニ足ラ

ザレドモ、數國ノ水皆集ル、故ニ大雨ノ後ハ、沿岸
ノ地往々水害ヲ蒙ル、平時ハ舟ノ上下スル者晝
夜絶エズ、運漕極メテ盛ナリ、其流河内ノ境ヲ過
ギ、江口ニテ別ル、川ヲ神崎ト云フ、直ニ尾崎ニ
到リテ海ニ入ル、本流又南ニ赴キ、再別ル、ヲ中
津川ト云フ、古ノ長柄川ナリ、未ハ南北傳法ノ二
流トナル、而テ本流猶西南ニ環リ、大坂ノ府下ヲ
貫キ流レ、木津、安沼ノ兩川トナリ、各海ニ入ル、此
川々ハ口ハ、即古ノ難波津ニシテ、數萬ノ商船常
ニ碇泊シテ、三四里ノ間ハ、帆樯林ノ如ク、出入織

ルガ如シ、安沼川口最盛ナリ、川口ニ天保山アリ、
燈臺ヲ建ツ、貞享年間、河村安沼、此川ヲ疏シテ水
利ヲ開ク、故ニ川ハ其名ヲ用キ、其後、再浚シテ目
標山ヲ築キ、呼ブニ年號ヲ以テスト云ス、
此國ハ大和ニ次ク大國ニシテ、西北ハ播磨、丹波
ニ界シ、山々打重リ、國境ハ殊ニ高峻ナリ、此山脈
西ニ走リテ、山陰、山陽ノ間ニ亘ル者トス、東南ハ
淀川ヲ帶ビ、山崎ヲ以テ山城ニ界ス、西南ハ内海
ニ臨ミタリ、○川ノ南ニ海ニ沿ヒテ、東成、西成ノ
諸郡アリ、西ハ即難波津、住吉浦ニシテ、東ハ阿部

野等アリ、直ニ河内ニ亘リ、地勢、頗平坦ナリ、昔時
嘗テ和泉ニ屬セシトアリシトゾ、
尼崎ヨリ西ノ海濱ハ、即茅渚ノ海ノ北ニ當リ、西
宮、生田、神戸、兵庫ノ街市アリ、武庫山、摩耶山、再度
山等、一帯相連リテ、其後ニ時テ、山ノ陰ヲ有馬ト
ナス、摩耶ハ元弘中赤松圓心ノ城ヲ築キタル地
ナリ、其麓ニ布引瀧アリ、下流ヲ生田川ト云ス、總
テ連山ノ谷間ヨリ流レ出ヅル川々ハ、津戸、蘆屋
御影、大石、湊、刈藻ノ諸川アレドモ、共ニ平時ハ水
ナガシテ、唯一條ノ沙礫ノミ、其西端ニ須磨浦ア

此地ハ一谷、鷓越等源平ノ古戰場ニシテ、海濱
ハ播磨ノ明石浦ニ亘リ、淡路島ト相對シ、白砂青
松、數里ニ連リテ、觀月ノ名所トス、
神戸ハ五港ノ一ニシテ、慶應三年、始メテ此地ヲ
開キ、外國ト互市ノ處トス、湊川ヲ夾ミテ兵庫ニ
連リ、和田ノ岬其西ヨリ出デ、大灣ヲナス、大坂
ハ海上七里、陸ハ鐵道新ニ成リ、往復殊ニ繁シ、大
坂ハ運輸ニ便ニシテ、神戸ハ碇泊ニ宜シ、兩地互
ニ輔ケテ繁華ヲナス、湊川神社ハ楠正成ノ墳ニ
就キテ社壇ヲ造營ス、福原其西ニテ、平清盛ノ

安徳帝ヲ奉ジテ都ヲ遷セシ處ナリ、此地及沿海
ノ諸邑ハ、多ク酒ヲ製シテ諸國ニ積ミ出ス、大石、
脇濱等最盛ナリ、是ヲ灘酒ト云フ、
有馬ハ山間ノ郡ニシテ温泉アリ、昔、舒明、孝徳ノ
二帝ノ行幸アリシ地ニテ、其後、白河帝モ亦浴シ
給フ、浴舎、軒ヲ列ネ、春夏殊ニ賑ヘリ、波豆川、有馬
川相合ヒテ生瀨川トナリ、南ニ下リ西宮ニ注キ
武庫川ト云フ、有馬ノ東北ハ、連山丹波ニ接シ、中
山寺、多田院アリ、東ニ箕面、石積ノ瀑布アリ、北ニ
能勢ノ妙見山アリ、山間ノ水集リテ一トナリ、池

田伊丹ノ間ヲ南ニ流レ、神崎川ニ入ル、是ヲ猪名川ト云フ、池田、伊丹モ亦酒造ノ地ニシテ、最名品ノ稱アリ、大坂ハ三府ノ一ニシテ、中國、西海ノ要津ニ當リ、海内ノ産物、悉集リ、百貨ノ融通スル、全國ノ第一タリ、淀川ノ本流ヲ大川ト云フ、府ノ西ヲ流ル、河水ヲ引キテ溝渠ヲ通シ、街市ノ間ヲ貫ク、東横堀、西横堀ト云フ、大川ニ天満、天神、難波ノ三大橋ヲ架ク、西横堀ニ高麗橋アリ、鐵橋ノ美ナル、我國ニ於テハ是ヲ始トナス、府下ハ橋ノ多キ、其數殆二

百ニ近シ、大川ノ北ニ天満ノ大社アリ、川崎ニ造幣所アリ、鑄造ノ場極テ廣大ナリ、○西横堀ノ間ハ府ノ中央ニシテ、道路正シク通り、豪商富家相列リ、人口總テ二十七萬アリ、○安沼川ノ南畔ニ九條島アリ、外國人、居留ノ地ト定メ、明治元年ヨリ造營ヲ始メ、商館、年毎ニ盛ナリ、其傍ニ松島アリ、新ニ劇場、娼樓ヲ設ケ、府西ノ繁華ノ處トス、府ノ南ハ道頓堀、難波新地等、遊覽ノ地ナリ、東ハ一帯ノ長岡相連リ、高津、生玉ノ諸社アリ、其南ニ四天王寺アリ、聖德太子ノ建立ニシテ、千餘年ノ古

寺ナリ、又其南ニ住吉社アリ、神功皇后ノ始メテ
齋ク古社ニシテ、天王寺ヨリ舊キ、猶六百餘年
ナリト云フ、

本府ハ古ヨリ浪華ト稱ス、仁徳帝ノ都址ニシテ、
高津宮ハ即帝ヲ祀リ奉ル處ナリ、今ノ府城ハ豊
太閤ノ築ク處ニテ、高壁深池、頗堅要ナリレモ、慶
長中、城陥リテ、惟本丸ノミ存セシガ、其城樓モ亦
近年、兵火ノ為ニ、空ク灰燼トナリタリ、
山城ノ茶、攝津ノ酒ハ、最上品タリ、大和綿、河内木
棉、亦其次ナリ、京都ハ西陣ノ織物ヲ以テ第一ト

ス綾、錦、縮緬、羽二重等極テ精巧ニシテ、鴨川染、清
水焼、其品其色更ニ美麗ヲ盡セリ、焼物ハ五條、粟
田等亦製造ス、畿内中ニハ、攝津ノ三田焼、和泉ノ
津田焼等アリ、其扇子、色紙、縫針、打絲ノ類、紅、白粉
香水、薰油等、總テ化粧ニ用ヰルノ具ハ、實ニ西京
ノ名品ナリ、食物ハ水菜、松茸等アリ、菓子最精シ、
鯉、鮎ノ類ハ諸國川沼多ク産ス、天王寺ノ蕪、西宮
ノ鯛ハ攝津ノ名産ナリ、南都ハ奈良晒、其業極テ
盛ニシテ、墨亦此地ヲ以テ良品トス、吉野葛、吉野
紙其名甚高シ、山中ハ銅礦アリ、辰砂、金剛砂アリ、

ヒルシ
指延
全
纏

其他獸皮藥種材木ヲ出ス、共ニ有用ノ品ナリ、蠟、
漆亦處々ニ是アリ、相樂郡ノ炭酸泉ヲ出シ、能勢
郡ノ石炭ヲ出ス、最缺ク可カラザル物トス、堺ノ
刃物ハ實用ノ器ニシテ、伏見、奈良ノ人形ハ、玩弄
ノ具ノミ、和泉ハ石品殊ニ多シ、然レトモ攝津ノ
御影石、山城ノ白川石、採切最大ナリ、而シテ大坂
ハ諸國ノ品物悉集リ、土産却テ少シ、僅ニ藤細工、
真田織^{サナク}、一貫張等ニシテ、薄雪昆布ト稱スル者、特
ニ其精美ヲ賞味スト云ス、

東海道全圖

東海道

東海道ハ十五國、伊賀、伊勢、志摩、尾張、三河、遠江、駿河、甲斐、伊豆、相模、武蔵、安房、上總、下總、常陸ナリ、西ハ畿内ニ接シ、東南共ニ大洋ニ向ス、故ニ海道ノ稱アリ、北ハ山脈ヲ限リ、東山道ト相並ビテ、東ニ連ル百五六十里、幅ハ廣狭一ナラズ、伊賀ハ畿内ニ接シ、甲斐ハ山脈ノ間ニアリ、共ニ海ナキ國ナリ、志摩、伊豆ハ香海中ニ出デ、遙ニ相對ス、其間ヲ遠江灘ト云フ、其相模以東ハ關東ト稱シテ地甚平坦ナリ、海水正南ヨリ来リ、安房、相模ノ間ニ

地志要略

入ル十八里、一ノ内海ヲナス、上總、下總及武蔵ノ
三國、是ニ臨ム、沿岸凡五十里、是ヲ江戸海ト云フ、
伊賀ハ四郡ヲシテ、山田、阿拜、伊賀、名張ト云フ、
大和、伊勢ノ間ニ夾ル小國ニシテ、連山四面ヲ圍
ミ、國中モ、赤岩尾、中瀬、岩倉等ノ溪谷アリテ、平地
甚少シ、名張、上野ノ二邑アリ、上野ハ稍繁華ナリ、
正南ニ三國山アリ、尾岳其東ニ峙チ、元取岳、長野
嶺ト相並ビ、伊勢ノ境ニ並ビ連ル、西ハ大和ニ接
シ、土地互ニ交ルモ、御齋嶺、赤坂峯等、自列リテ國
境ヲ限レリ、正北ノ近江ニ界スル處ハ、山岳相重

リタレド、其西北ノ間、稍平坦ニシテ、僅ニ山城ニ
接ス、全國ノ水集リテ、長田、名張ノ二川トナリ、此
間ヨリ西ニ流レ出ヅ、共ニ木津川ノ上流ナリ、
服部川ハ長野嶺ニ出デ、大内川ハ元取岳ニ發シ、
上野ノ西ニ合ヒ、長田川ト云フ、黒田川ハ源ヲ大
和ノ東境ヨリ發シ、赤目、四十八瀧ノ下流ヲ并セ、
長瀬川ハ尾岳ノ南ヨリ来ル、兩川相會シテ名張
川ト云ヒ、山間ヲ環リ下ル、沿岸ノ地皆梅樹ニシ
テ、花時ニ遊人多ク来賞ス、月瀬ノ梅ト云フ、此邊
其古ハ當國ノ内ナレドモ、今ハ多ク大和ニ屬ス

ト云フ、伊勢ハ桑名、負辨、朝明、三重、河曲、鈴鹿、奄藝、安濃、壹志、飯高、飯野、多氣、度會ノ十三郡ナリ、垂仁帝二十五年、天照大神ヲ、大和ノ笠縫邑ヨリ、此國ノ宇沼ニ遷シ奉リ、其後雄略帝二十二年、豐受大神ヲ、丹波ノ真名井原ヨリ、山田ニ遷シ奉ル、即内宮、外宮ト稱ス、此二郷ハ宮川ノ南ニアリ、故ニ川内ト稱シテ、他郷ト異ニス、東ハ海濱ニ至リ、南ハ朝熊山、神路山相重リ、志摩ノ境ニ亘ル、全國ノ海岸三十餘里、尾張ト相對ス、其廣十餘里

一ノ内海ヲトス、是ヲ伊勢ノ海ト云フ、○木曾川ハ尾張ヨリ来リ、伊尾川ハ美濃ヨリ来リ、共ニ南ニ流レ、相合ヒテ即分レ、長島ヲ抱キ、各内海ニ注グ、是ヲ國ノ東北境トナス、西境ハ、山脉一帶相連リ、北ヨリ南ニ亘ル、近江ノ境ハ、藤原兵、鎌兵、鈴鹿山等アリ、伊賀ノ境ニ、長野額元、取岳、尾岳等アリ、大和ノ境ハ、國見、高見ノ諸山ニシテ、紀伊ノ境ハ、大臺原、高ク峙チタリ、○國内ハ北ノ方ニ、多度山、篠立山アリ、漸西シテ高原相連ル、廣瀨野、能褒野ト云フ、能褒野ハ日本武尊

崩御ノ地ニシテ、山陵新ニ造營ヲ加ヘタリ、雞足山、筆捨山、錫杖岳、經峯等其西ニ連レリ。○南ノ方ハ山ニ相重リ、矢頭堀坂ノ諸山、前面ニ遮リテ、郡村、悉山間ニアリ、多氣ノ城址ハ、北畠氏ノ居城ニシテ、土人猶、御所邱ト稱ス、准后親房ヨリ、此國ヲ領スル十世、遂ニ織田氏ノ為ニ滅サル。○南隅ノ地ハ別ニ大洋ニ臨ミ、紀伊ノ熊野浦ニ連リ、海岸高ク、聳エ、岩礁竝ビ立テ、迫間、方座ノ浦アリ、九十九浦ト稱ス、村民皆漁獵ヲ務ム、其志摩ノ南ニ續クヲ以テ、總テ南島ト云フ、

内海ノ濱ハ平坦ニシテ、中間ニ鼓浦、阿漕浦アリ、南ヲ見、浦ト云ヒ、北ヲ霞浦ト云フ、共ニ風景美ニシテ、二見ノ立石、殊ニ有名ナリ。○桑名、四日市、津、松坂、山田ノ市街アリ、共ニ繁華ニシテ、富商豪族多クアリ、各一都會ヲナス、桑名ハ伊尾川ノ海口ニシテ、尾張ニ渡ル要津ナリ、四日市ハ近頃、波戸ヲ築キ、商船常ニ大坂、東京ノ間ニ往来ス、故ニ品物ノ出入ハ、當國ノ第一ナリ、其他、鷺崎、若松ノ諸港アリ、大湊ハ山田ニ接シ、亦碇泊ノ地ナリ、水流ハ皆西境ノ山間ニ出テ、悉東ニ流レテ直ニ

内海ニ入ル、故ニ川々ノ數、甚多クドモ、却テ大
河ナシ、負辨川又、町屋川ト云フ、藤原岳ニ出テ、桑
名ノ西ニ注ク、關川ハ下流ヲ高岡川ト云フ、鈴鹿
山ヨリ發シ、御幣川ヲ并セ、鼓浦ノ北ニ入ル、雲津
川ハ源ヲ尾岳ニ發シ、數川相集リ、阿漕浦ノ南ニ
落ツ、河口ニ辛洲神社アリ、櫛田川ハ高見、國見ノ
兩山ニ出ヅル者、相合ヒテ一トナリ、未ハ再分レ
テ兩派トナル、支流ヲ夜川又、稻木川トモ云フ、宮
川ハ大臺原ヨリ出テ、水源尤遠シ、三十餘里ニシ
テ大湊ニ注グ、此川々ハ、關川ノ外、皆舟ハ其下ス

ル者ニシテ、此他ハ三重川ノ四日市ヲ貫キテ、霞
浦ニ注キ、五十鈴川ノ宇治ヲ流シテ、二見浦ニ入
リ、塔世川ノ津ノ城西ヲ繞リ、笹川ノ松坂ノ市間
ヲ流ル、等アリ、
此國ヲ兩別シテ、南勢ト唱フル者、或ハ雲津
川ヲ以テシ、或ハ關川ヲ以テスト云フ、
志摩ハ二郡ニシテ、英虞、荅志ト云フ、
國小ニシテ、三面共ニ大洋ニ向フ、海岸僅七里餘、
最南ニ出デタル岬ヲ麦崎ト云フ、西南ハ熊野浦
ヲ隔テ、紀伊ノ汐御崎ニ向ヒ、東ハ伊豆ノ岬ト

相對ス、海上ハ岩礁亂レ立テ、大王岩、鳴神岩等相
聳エ、海潮常ニ暴惡ナリ、西ニ向ヒテ一岬アリ、御
座崎ト云フ、其灣内ヲ立神ト云フ、是ヨリ南ノ海
岸ハ、伊勢ノ南島ニ連レリ、
東ノ海岸ニ的屋、鳥羽ノ二港アリ、凡大坂、及西海
ヨリ、東ニ海運スル者ハ、遠江灘七十五里ノ間ニ、
風波ヲ避クルノ地ナキヲ以テ、必此二港ニ碇泊
シ、順風ヲ待テ、始テ東ニ赴クト云フ、
的屋ハ安樂崎海中ニ突キ出テ、其灣内ニ渡鹿野
島アリ、灣ハ北岸ハ即港ノ街市ナリ、後ニ青峯

リ、伊雜神社アリ、此邊ハ總テ深山ニシテ、數里ノ
間ニ九十九谷アリト云フ、水流レテ池田川トナ
リ、灣内ニ注ク、
鳥羽ハ三河ノ岬ト相對シ、伊勢ノ海ノ口ヲナス、
神島其中間ニアリ、桃取島、菅島等、大小六七、相並
ビテ港ノ前面ヲ抱キ、自大灣ヲナス、水深クシテ
大船碇泊スベシ、街市ハ的屋ニ比スレバ、更ニ繁
華ナリ、日和山高ク岸上ニ聳エ、山上ハ内外海ヲ
望ミ、風景頗美ナリ、此地ハ朝熊山ヲ越エテ、山田
へ五里、海濱ハ大湊へ六里餘

此國ハ其昔伊勢三河ノ間ニ在ル海島ナレバ此
名アリシトゾ何時カ海中ニ崩レ没シタレバ伊
勢ノ二郡ヲ割キテ其國名ヲ存スト云フ
尾張ハ八郡愛知春日井丹羽兼栗中島海西海
東知多ト云フ
此國予坦ニシテ山ヲク南ハ内海ニ向ヒ北ハ美
濃ニ亘リ廣野三十里ニ連ル木曾川ハ有名ノ大
河ナリ東ヨリ来リテ兩國ノ間ヲ流レ南ニ繞リ
分レテ依屋川トナリ本流ハ西ニ廻リ伊勢ノ境
ニ到リテ伊尾川ニ落チ合ハ是ヲ三國ノ境トナ

ハ是ヨリ下流ハ又佐屋川ヲ并セ再數派トナリ
テ各海ニ入ル數ハ廣南ニ北流ニ
小牧山ハ平野ノ中央ニアリ四面共ニ眼下ニ一
望ス可キ處ナリ慶長年間徳川氏ノ織田信雄ヲ
援ケテ羽柴氏ト對陣セシ地ニシテ其勝敗ハ却
テ長湫ノ一戦ニアリ東ニ桶狭間ノ古戰場アリ
今川義元戦死ノ地ナリ抑此國ハ織田羽柴ノ二
氏相繼ギテ起ル處ニシテ織田氏長ク清洲ノ城
ニアリ故ニ街市令ニ其繁華ヲ存セリ
國ノ東北ニハ入鹿池アリ水深クシテ此下流ニ

浸ス所ノ田、十萬石ニ及フト云フ、此邊ヨリ東ハ
 山林遠ク連リ、多ク良材ヲ出ス、其三河、美濃ト相
 接スル處ハ、三國嶺、雲見^カ峯等ノ諸山峙チ、遂ニ南
 ニ連リテ、一ノ山脈ヲ為シ、海中ニ出ツル十八里、
 是ヲ知多郡トナス、西ハ内海ヲ隔テ、伊勢ニ對
 シ、東ハ三河ノ入海ニ臨ハ、衣浦^カト稱ス、岬端ヲ羽
 豆崎^{ツサキ}ト云フ、三河ノ伊良胡崎^{イラコサキ}ト相對シ、篠島^{シノシマ}、日間
 賀島^{カシマ}等其間ニアリ、相距ル甚近シ、全郡地味膏沃
 ニシテ良米ヲ産ス、豪商多ク且魚塩ノ利アリ、
 名古屋ハ一ノ大都會ニシテ、南ハ宮驛ニ連リテ

内海ノ涯ニ達シ、西ハ庄内川^{シマノカイ}ヲ隔テ、清洲ニ連
 ル、數里ノ間、街市相續キ、且東海、東山二道ノ要地
 ニシテ、人口十五萬アリ、其繁盛ナルヲ、實ニ三府
 ニ次ク、宮ハ熱田神社アリ故ニ名ク、昔日本武尊
 ノ東夷ヲ征シテ凱還スルヤ、草薙劍ヲ茲ニ留ム
 遂ニ奉祀ス、街市ハ内海ニ臨ミ、古、愛智潟ト稱ス、
 是ヨリ伊勢ノ桑名ニ渡ル、海上七里、是ヲ間遠^{マトウリ}ノ
 渡ト云フ、
 庄内川ハ、下流ヲ一色川^{イツシキ}ト云ヒ、上流ヲ土岐川ト
 云フ、美濃ヨリ來リ、山間ヲ西ニ下リ、矢田川^{ヤダ}ヲ并

七、枇杷島ヲ過ギ内海ニ入ル、是ヲ此國ノ大川ト
 ナス、其他、平野ノ間ヲ環リ流ル、者ハ、大率、木曾
 川ヲ引キテ、田畝ヲ灌キ浸ス水ニシテ、鯉、鮒類多
 ク産ス、蟹江、日光、善太等ノ名アリ、佐屋川ノ東岸
 ニ津島神社アリ、俗ニ午頭天王ト稱ス、亦大社ナ
 リ、是ヨリモ伊勢ニ渡ル往還アリ、其七里ヲ渡ラ
 ザル者ハ、多ク是ニ由ルト云フ、
 三河ハ、碧海、賀茂、額田、幡豆、寶飯、設樂、八名、渥美
 ノ八郡アリ、
 矢矧、大卒及豊川ノ三大河アル故ニ、國號ハ名ケ

タリトゾ、矢矧川ハ南北ニ源アリ、共ニ信濃ノ境
 ニ出デ、相合ヒテ美濃ノ境ヲ西ニ流レ、轉ジテ南
 ニ赴キ、足助川ヲ并セ岡崎ニ到ル、矢矧橋ヲ架ク、
 海道第一ノ長橋ニシテ、二百八間アリ、然レ凡令
 ハ廢絶ス、橋ノ南ニテ大卒川ト合ヒ、共ニ流レテ
 平坂港ノ東ニ注ク、豊川ハ煙巖山ノ奥ナル神田
 山ニ出デ、山間ヲ南ニ下リ、板敷川ヲ并セ、長篠ヲ
 過ギ、鳶巢山ノ麓ヲ流レ、本野原ノ東ニ沿ヒテ吉
 田ニ到ル、橋アリ、其長百二十間、是ヲ豊橋ト云フ、
 橋下ハ即河口ナリ、大平川ハ大屋川トモ男川ト

モ云ヒ源ヲ本宮岳ニ發シ、西ニ流ル、三川ノ内ニ
テハ最小ナリ、橋ノ長僅ニ五十間ニ過ギズ、
本宮岳ハ國ノ中央ニ峙チ、東麓ハ即本野原ニシ
テ、其北ハ總テ深山打續キ、信濃、美濃ニ接ス、鳳來
寺ハ即煙巖山上ニアリ、其群山ノ中ニモ、殊ニ峻
嶮ナルモノニシテ、峯モ名ト共ニ高シ、西ニ猿投
山アリ、亦高山ニシテ山間ヲ水南ニ下リテ尾張
ノ境ヲ流ル、故ニ堺川ト云フ、古ハ此川ヲ大平川
ト云ヒシトゾ、
萬、巢、嵩、瀨ノ山脈ハ、遠江ノ境ニシテ南ニ赴キ、石

卷山ニ連リ、國ノ東境ヲ限ル、其脈、海岸ニ到リ、折
レテ西ニ走ル十三里、是ヲ渥美郡トナス、田原山
ハ郡ノ中央ニアリ、南ハ全ク大洋ヲ受ク、謂ユル
遠江灘ニシテ、風浪常ニ暴シ、其西端ヲ伊良胡ト
云フ、西ハ志摩ト相對ス北ハ尾張ノ智多郡ト海
口ヲ夾ミ、其間二里、内ハ大ナル入海ニシテ、佐久
島、竹島等ノリ、平坂、吉田ハ共ニ入海ノ北岸ニシ
テ、平坂ハ運漕最盛ナリ、
此國ハ、徳川氏ノ領スル處ニシテ、常ニ岡崎ニ居
ル、故ニ街市ノ盛ナル、海道中ニモ殊ニ有名ナリ、

北ニ松平村アリ、大樹寺アリ、共ニ其舊地、故蹟ニ
 シテ、西ニ八橋ノ古蹟アルハ、燕子花ノ名ノニ殘
 レリ、而テ長篠ノ古戰場ハ、尤著名ナル軍事ニシ
 テ、武田勝頼ノ勝ニ乘リテ、遂ニ敗レ、二萬ノ兵、死
 亡殆、盡ク、實ニ徳川氏ノ大業ヲ基スル、一大戰勝
 ナリト云フ、

遠江ハ、濱名、敷智、豊田、引佐、鹿玉、長上、磐田、周智、
 山名、佐野、城東、榛原ノ十二郡ナレ氏、濱名ハ二
 村ニシテ、磐田ハ僅ニ一村ナリ、郡ノ小ナル一、
 他國ニ其比ナシト云フ、

濱名ノ湖ハ國ノ西隅ニシテ、東西四里、南北凡五
 里餘、其内ニ猪鼻湖、引佐細江等アリ、東ハ佐鳴湖
 ニ通ジ、西ハ高師山、峙チ、風景ノ美ナルハ此國ノ
 第一ト云ヘリ、國名ノ起ルモ此湖アル故ニシテ、
 近江ニ對シテ遠江ト云フ、昔ハ湖水、南ニ流レテ
 川ヲ為シ、濱名橋アリシモ、明應年間ニ地震ノ為
 ニ湖口、切レ崩レテ、海水互ニ通ジ、其間一里計、
 切ト稱ス、故ニ今ハ入海ノ如クナリタリ、
 此國ハ三方皆山ニテ、南ハ大洋ニ向フ、志摩、伊豆
 ノ間ニ當ル、是ヲ遠江灘ト云ヒ、又遠州灘トモ云

フナリ、御前崎ハ海中ニ突キ出デ、岩礁多ク立チ
 並ズ、其大ナル者ヲ沖ノ御前ト云フ、其西ヲ志留
 波磯ト云フ、風浪險惡ナル、實ニ舟行ノ一難處
 リ、崎ヨリ東ハ駿河ニ直リ、釘浦ト云フ、大井川北
 ヨリ流レ出デ、兩國ノ境ヲ限リ茲ニ注グ、
 秋葉山ハ國ノ中央ニ立チテ、其後山ハ信濃ニ連
 リ、總テ深山幽谷ニシテ、人跡ノ達セザルヲ數十
 里ナリ、山岳ノ高深ナルヲハ、海道第一タリ、東ニ
 淡岳アハカアリ、亦高峻ナリ、佐夜中山サヨノナカヤマ、岳ヨリ南ニ別
 富田山トヒダトナリ、海岸ニ連リ、小笠原、高天神人

兩山トナル、高天神ノ城址ハ、武田氏ノ力ヲ盡シ
 テ、攻メ陷レシ堅城ナリ、然レ長篠ノ一敗ニ及
 ビテ、地、又吾有ニ非ズ、
 二瀨川ハ淡岳ニ出テ、掛川、袋井ヲ過ギテ諸井川
 トナリ、三日野川ト合ヒテ福田ノ湊ニ注グ、天龍
 川ハ信濃ヨリ来リ、三河ノ境ニ沿ヒテ東ニ轉ジ、
 秋葉山ノ西麓ヨリ、直ニ國ノ中央ヲ南ニ流レ、別
 レテ大天龍、小天龍ト云フ、共ニ掛塚ノ湊ニ注グ、
 此川ハ、信濃ノ諏訪湖ノ下流ニシテ、源ヨリ海口
 マデ、凡四十餘里、山間ノ溪流相會スル十餘川、水

勢頗急ナリ、然レ氏舟ノ上下スル者ハ、遙ニ上流ニ及ブト云フ、此國ノ海岸ハ、總テ砂濱ニシテ、松林遠ク連リ、且國內モ廣原、甚多ク、東ニ布引原フヰキガアリ、中間ニ磐田原アリ、而シテ天龍川ノ西ニアル者殊ニ大ナリ、三方原ト云フ、古ハ引馬野ト稱シ、濱松城、其間ニマレバ、又引馬驛ト云フ、濱松ハ東西京ノ中途ニ當リテ、頗、繁華ノ地タリ、徳川氏ノ三河ノ岡崎ヨリ遷リテ此城ニ居ルヤ、武田信玄大軍ヲ率キテ、信濃ヨリ来リ攻ム、城兵僅ニ千餘、迎ハ撃チテ原

中ニ進ミ戦ヒ大ニ是ヲ破ル、故ニ或ハ身方ノ原トモ云ヘリ、駿河ノ七郡ハ、志太、益頭、有度、安倍、庵原、富士、駿東ナリ、富士山直立スル一千四百丈、北面ハ甲斐ニ跨リ、四時、常ニ白雪ヲ戴キ、八峯並列シテ、四面、其形ヲ同クス、實ニ海内無雙ノ名山ニシテ、我國第一ノ高岳ナリ、元、噴火山ニシテ、山頂ニ洞穴アリ、東ノ山腹ニ寶永山アリ、即、寶永年間ニ灰石ヲ吹キ出ストキ、此山、俄ニ起立ス、故ニ此名アリ、岳ノ東ニ

地言身田 卷之一 五

足柄山アリ、相摸ノ境ニ連リ、南ニ走リテ箱根山
 トナリ、伊豆ニ亘ル、北ハ信濃、甲斐、遠江ニ接ス、山
 岳相重リ、總テ道路ノ通セザル處トス、
 愛鷹山ハ、形ヲ以テ鋸岳トモ云フ、富士山ノ南麓
 ニ聳エ、是ヨリ海ニ到ルマデ、浮島原ト云フ平原
 ニシテ、南ハ田子浦ヲ限リ、其中ニ富士沼アリ、此
 國ノ海ハ、伊豆、遠江ノ間ニ夾リ、自然ニ内海ヲナ
 ス、東ノ入江ハ、伊豆ノ江梨崎、其前面ヲ抱キ、兩國
 ニ亘リテ江浦ト云フ、黄瀬川ハ足柄山ノ麓ヨリ
 来リ、伊豆ノ狩野川ト合ヒテ、茲ニ注ク、西ノ入江

ハ清見潟トテ、長洲一帯其南ニ出テ、白砂翠松相
 連ル、一里、三保松原ト云フ、潟ノ北ニ薩埵嶺アリ、
 西ニ久能山アリ、風色極テ美ニシテ、富士山ヲ眺
 望スル尤佳ナリ、灣内ニ清水港アリ、興津江尻ノ
 兩川、共ニ灣内ニ落ツ、凡、國內ノ川々ハ北ヨリ南
 ニ下ル、山高ク海近キガ故ニ、其流極テ急駿ナリ、
 國名モ是ヨリ起ルト云ヘリ、
 富士川ハ三急河ノ一ニシテ、甲斐ヨリ来リ、上流
 ハ兩岸高ク逼リ、其流恰瀧ノ如シ、然レモ甲斐ニ
 往来スル舟、常ニ是ヲ上下シテ運漕甚多シ、安倍

川モ亦急激ニシテ、蘆久保、静岡ヲ過ギ海ニ入ル、
静岡ハ元、府中ト稱ス、故ニ駿府ト云フ、駿、遠、三ノ
三國ハ、徳川氏ノ舊領ニシテ、此地モ亦其居城ナ
リ、其繁華ナルト、岡崎、濱松ニ三倍ス、大井川ハ海
道一ト雖モ、山水ノ落チ合ヒテ流レ出ル路ナレ
バ、平時ハ歩渡ニシテ、雨後ノ出水毎ニ、水流屢變
シ、其盛ナル時ハ、河幅凡一里計、兩岸相辨セザル
ニ至ル、近年、浮橋ノ設アリト云フ、

甲斐ハ、八代、巨摩、山梨、都留ノ四郡ナリ、
此國ハ富士山ノ後陰ニアリ、身延、七面、白根、鳳凰

駒岳ノ諸山其西ニ並ビ聳エ、八岳、金峯山、雁坂、額
其北ニ連ル、此ニ面ハ共ニ信濃ニ包レ、西境殊ニ
高深ナリ、東ハ大菩薩嶺、天目山、笹子峠、御坂峠、十
二岳等國內ニ亘ル、四面ノ連山相接シ、其中ニ平
地アレバ、國、全ク峽中ニアリ、甲斐ハ即峽ノ義ナ
リ、
甲府ハ國ノ中央ニシテ、武田氏世々此國ニ居リ、
古府、新府ノ城趾アリ、天目山ハ織田氏ノ来リ攻
ル時、勝頼、戰敗レテ、遂ニ自殺セシ處ナリ、身死シ
國亡ブルモ、土人猶遺徳ヲ慕ヒ、今ニ至ルマデ、人

ノ譏リ朝ルアレバ、必怒ルト云フ、雁坂嶺ノ西ニ出テ、山
笛吹川ハ子酉川トモ云フ、雁坂嶺ノ西ニ出テ、山
間ヲ南ニ下リ、両崖絶壁ニシテ水流甚急ナリ、重
川又面川ト云フ、大菩薩嶺ニ發シ、日川ハ天目山
ヨリ来リ、石和川ハ上流ヲ金川ト云フ、御坂峠ニ
出テ、荒川ハ源ヲ金峯ニ發ス、數川共ニ甲府ノ南
ニ會シ、西ニ赴キテ釜梨川ニ合フ、釜梨ハ又釜無
ト云フ、駒岳ノ北ヨリ發シ、七里岩ノ岸ヲ東ニ流
レ、八岳ヤツカノ水ヲ集メ来ル鹽川ヲ并セ、南ニ赴キ、笛
吹川ト合フ、是ハ富士川ト云フ、駿河ニ入ル川ハ

西岸ニ歟、澤アリ、是ヨリ常ニ舟運相通ス、禹瀨ウガセ屏
風岩等アリ、兩岸相逼、火川流ハ急激ナルト實ニ
驚ク、久而テ其行舟ノ巧ナル、亦駭クニ堪ヘタ
リ、都留ノ一郡ハ、天目山、御坂嶺ノ山脈其西ヲ限リ、
東ハ相模ニ接ス、水流皆東ニ下ル、地形、風俗、別ニ
一郷ヲナス、稱シテ郡内ト云フ、南ハ富士山ノ裾
野ト呼ビ、廣原遠ク亘リ、總テ燒土ノ野山ニシテ、
五穀生セズ、其間ニ數湖アリ、西ニアル者共ニ小
ナリ、西湖ミシノウミ、精進湖シヨウジン、本巢湖モトスト云フ、東ニアル者漸ク

大ナリ、川口湖、山中湖ト云フ、共ニ周回四里アリ、
 山中ノ水ハ桂川トナリ、他ハ悉伏流トナリテ西
 ニ出デ、蘆川ト云フ、富士川ニ入ル、蘆川ノ南岸ニ
 蛾岳アリ、山上ニ四尾連湖アリ、以上六湖、更ニ駿
 河ノ富士沼、及ヒ相摸ノ蘆湖ヲ并セテ、富士ノ八
 湖ト稱ス、
 桂川ハ北ニ流レ、都留花咲ノ諸川ヲ并セ、東ニ轉
 ジテ相摸ニ入ル、更ニ道志川アリ、南隅ニ出デ亦
 相摸ニ入ル、北境ニ丹波川アリ、武蔵ニ入り多摩
 川ト云フ、總テ郡中ノ水、岸高シテ水急ナリ、桂

川ニ猿橋アリ、谷ハ深ク數十丈、橋ハ長亦十餘間、
 其奇巧ナル實ニ人目ヲ驚カセリ、
 伊豆モ四郡ニシテ、田方、那賀、賀茂、君澤ト云フ、
 南海中ニ出ヅル二十餘里、故ニ國ヲ伊豆ト名ク、
 北ハ相摸、駿河ニ接シ、足柄、箱根ノ山脉、南ニ連リ
 テ國ノ中央ニ亘ル、其高クシテ大ナル峯ヲ天城
 山トナス、四郡ノ地、共ニ山ヲ繞リテ海ニ向フ、海
 岸六十餘里、最南ノ岬ヲ石廊崎ト云フ、奇巖亂レ
 立ち、其高、各數丈、海潮相激シテ、其流、瀑布ノ如シ、
 蓋シ富士ノ山脉ハ南ニ走ル者、茲ニ到リ海ニ觸

レテ切斷ス而テ其脈、猶海上ニ出沒シテ、七島トナリ、小笠原ノ諸島ニ連リテ、遙ニ太平洋中ニ散布ス。

川流ハ大ナラズ、天城山ノ南ニ出ヅル者、河津川

稻生澤^{イナサ}アリ、其北陰ニ發スル者、漸大ナリ、狩野川

ト云フ、北ニ流レ、駿河ノ黄瀬川^{キセカワ}ト共ニ江浦ニ注

ク、川ノ東ニ韭山^{ニニヤマ}、北條アリ、又蛭小島^{ヒルガコジマ}アリ、昔源頼

朝ノ流サル、ヤ、實ニ此地ヨリ兵ヲ起シ、遂ニ天

下ノ政權ヲ握リ、北條氏相繼テ幕府ヲ擁立ス、既

ニ亡フル、伊勢氏又韭山ニ據リ、北條ヲ氏ト

ス、凡關東ノ地ニ依リ事ヲ成ス、皆此地ヲ以テ根

據トナスト云フ、^{シニセン}此國ハ火山ノ脈ニ當リ、温泉甚多ク、修禪寺ハ狩

野川ノ西ニアリ、東ノ海岸ニハ、走湯^{ハシリュ}及ビ伊東寺

アリ、而テ熱海^{アツミ}最盛ナリ、其泉沸出ヅル、晝夜必六

度ニシテ時ヲ違ヘズ、此地ハ西ニ日金山^{ヒカキヤマ}、伊豆山

ヲ負ヒ、東ハ相模灘ニ向ヒ、細代^{アジロ}ノ灣、及川名ノ岬

其石ニ連リ、初島^{ハツシマ}前面ニ横リテ風景ノ美ナルヲ

畫ケルガ如シ

下田ハ富國第一ノ湊ニシテ、兩岸門ヲ夾ミ、凡木^{ツメギ}

寄其北ニ突キ出デ、遙ニ安房ノ岬ニ對ス、灣内、水深ク、大船數十常ニ碇泊ス、凡志摩ノ鳥羽、的屋ノ二港ヲ發シテ東ニ赴ク者、必茲ニ懸リ、後、江戸海ニ入ルト云フ、湊ノ南ハ、沿岸三里、石廊崎ニ達ス、海上岩礁多ク、峙チ、島嶼前面ニ並ビ列ル、其大ナル者ヲ神見元島ト云フ、燈臺ヲ建テ、暗夜ノ舟行ヲシテ此險ニ觸ザラシム、
七島ハ、大島、新島、利島、神津、三宅、三倉及八丈ト云ス、大島ハ下田ノ東南十三里ニアリ、島中ニ火山アリ、三原山ト云フ、新島ハ宮塚山、向山ノ雙峯アリ

リ利島、式根ハ是ニ屬ス、式根ハ元、新島ト續キタリシガ、地震ノ為ニ割レテ兩島トナルト云フ、共ニ大島ノ正南ニアリ、相去ル十里計、神津島ハ天井山島ク聳エ、全峯白砂ヲ敷クカ如シ、三宅モ火山アリ、雄山ト云フ、島ノ四面絶壁ニシテ、舟ヲ着クル能ハズ、三倉島是ニ屬ス、全島、黄楊樹ノミ、總テ七島ノ間ハ岩礁多ク立チ、蘭難波岩、三本岳、遠波瀨等アリ、共ニ新島ノ南十餘里ノ間ニ並列ス、八丈島ハ、小島、青島是ニ屬ス、下田ノ正南九十里ニアリ、三宅島ヲ距ル六十里、其間ニ海流、川ノ如

キ者アリ、黒瀬川ト云フ、島中ハ東山、西山ノ兩峯
アリ、西山尤高シ、小島ノ峯是ニ次ク、全島ノ人負
ハ、女ハ男ニ三倍ス、氣候常ニ暖熱ナリ、青島ハ古
ノ鬼島ニシテ、昔時、山火噴出シテ、全島悉焼滅ス、
近時、漸、開墾ニ就クト云バ、

小笠原島、即、無人島ノ事ニシテ、大小九十四島ア
リ、八丈ノ正南百六十里ニアリ、兩別シテ北ヲ父
島ト云、人兄島、弟島等是ニ屬ス、南ヲ母島ト云フ、
姉島、妹島、姪島等是ニ屬ス、文祿中、小笠原貞頼、始
テ此地ヲ見出ス、故ニ名ク、父島ハ、錨山、旭山、二見

港等アリ、母島ハ、乳房山、南ニ聳エ、沖村ノ港ハ、島
ノ西南ニアリ、各島ハ、椴櫚、木鱗等繁生シテ、野羊、
野豚、信天翁アリ、海中ハ、鯨魚、鰐龜最多シト云フ、
相摸ハ、足柄ニ上下アリ、其他ハ、陶駿、大住、愛甲、
高座、鎌倉、津久井、三浦ト云フ、共ニ九郡ナリ、
雨降山ハ世ニ大山ト云フ、國ノ中央ニ峙テ、山路
高峻ナリ、丹澤山、其上ニ秀テ、更ニ高シ、此山ノ
後ハ、津久井ノ群山ニシテ、直ニ甲斐ニ連リ、北ハ
武蔵ニ接シ、小佛峠アリ、而テ足柄山ハ駿河ニ跨
リ、箱根山ハ伊豆ニ直リ、共ニ西ニ並ビテ國境ヲ

限ル、両山共ニ古ハ關門アリシ故ニ、是ヨリ東ノ
國々ヲ、關東又坂東トモ云フ、箱根ハ八里ハ大峠
ニシテ、海道一ノ險坂ナリシモ、近頃ハ石ヲ去リ
路ヲ築キ、登降甚穩ナリ、山上ニ湖水アリ、周回五
里、蘆湖ト云フ、溪流是ヲ導キ南ニ下ル、溪ノ南岸
ニ温泉甚多シ、是ヲ箱根七湯ト云フ、浴客常ニ盛
ニシテ、湯本、宮下、最繁華ナリ、此溪ヲ早川ト云ヒ、
小田原ヲ過キテ海ニ入ル、小田原ハ、後北條氏、五
世九十七年、茲ニ居リテ、關東ノ大半ヲ領ス、故ニ
街市ノ繁盛ナルヲ、當國第一タリ、

道志川、桂川共ニ甲斐ヨリ来リ、津久井ノ山間ニ
テ合ヒ、折レテ南ニ流レ、馬入川ト云フ、此川ハ當
國第一ノ大河ナレバ、相模川トモ稱ス、固瀬川ハ
小佛峠ニ出デ、武蔵ノ境ヲ流ル、故ニ堺川ト云フ、
轉ジテ南ニ下ル、藤澤ノ南ニ到リ海ニ入ル、花水
川ハ大山ヨリ出テ、酒匂川ハ足柄山ヨリ流レ来
ル、此數川ノ海ニ入ル處ハ、海岸砂濱ニシテ、其間
十里計、陶綾磯ト云フ、三浦郡其東ニ出デ、西ハ石
藪山、真鶴崎ヨリ、伊豆ノ國ヲ限リ、海上ヲ相模灘
ト稱ス、

三浦郡ハ海中ニ出ヅル一八九里ニシテ内、外海ノ間ヲ限ル、^{キヌケ}衣笠ノ城址アリ、三浦大助ガ戦死ノ地ナリ、其端ヲ三崎^{ミサキ}ト云フ、城島^{シロカシマ}横リテ舟泊ノ處トス、東ハ内海ニ臨ミテ、浦賀ノ湊アリ、即江戸海ノ要口ニシテ、灣内狭小ナレド、高船常ニ集ル、湊ノ北ニ岬アリ、走水ト云フ、灣アリ、横須賀ト云フ、造船場ヲ設ク、其盛大ナルト東洋中ノ第一ト稱ス、灣ノ北ハ武蔵ノ金澤ニ連ル、鎌倉ハ源頼朝ノ幕府ヲ開キシ地ニシテ、北條氏足利氏相續キテ此地ニ居ル凡三百年故ニ世ニ

ノ大家名族ノ宅趾アリ、此^{コノ}企谷^{キヤク}扇谷^{セウヤク}ノ名猶山谷ノ間ニ残レリ、其地廣カラザレ^シ氏山ヲ負ヒ海ニ向ヒ、頗要害ノ地ト稱ス、鶴岡八幡宮及建長、圓覺寺等古五山ト稱セシ者、今猶存ス、海濱ハ由井濱^{ユヰハマ}稲村崎アリ、其西ハ七里濱^{シロサチハマ}腰越村^{ウサヒコ}等連リ、陶綾磯ニ直ル、江島ハ腰越ノ岸ヲ離ル、僅數町ニシテ、砂路^{スナジ}傳ニテ到ルベキ孤島ナリ、奇石多ク立チ、崖下ニ洞窟等アリ、風色頗美ナリ、其東京ノ近地ニアル名所ナルヲ以テ、都下ノ遊人、常ニ鎌倉ト共ニ必遊ノ處トナス、

武藏ハ久良岐、都筑、多摩、橘樹、荏原、豊島、足立、新座、入間、高麗、比企、横見、埼玉、太里、男衾、嚙羅、榛澤、那賀、兒玉、加美、秩父、葛飾、二十二郡ナリ、大凡郡數ノ二十ヲ過グル者ハ、此國及美濃ノ二國ノミ、秩父山ハ西北ニ重ク、信濃、上野ニ接ス、武甲山、三峯最高シ、山脈是ヨリ別レテ東南ニ連リ、甲斐ノ境ニ大岳、御岳アリ、相摸ノ境ニ小佛峠、高尾山アリ、小佛ノ東北ニ八王寺アリ、昔豊臣氏ノ關東ヲ攻レバ、上杉、前田ノ兩氏從ヒテ城ヲ陷レ、悉其人

ヲ殺ス即此地ナリ、一村令盛ニ織物ヲ出ス、多摩川、又、玉川トモ云ク、甲斐ヨリ来リ、南流ル河水、極テ清冷ニシテ、羽田ニ到リ内海ニ入ル、荒川ハ秩父ノ水ヲ集メ、東北ニ赴キ、下流ヲ隅田川ト云フ、兩川ノ間凡十里計、是ヲ武藏野ト云フ、西ハ秩父山ヲ限リ、東ハ内海ノ涯ニ到ル、地形平坦ナリ、此野ハ新田、足利ノ二氏、及、西上杉氏等ノ古戰場ニシテ、分倍河原、小手差原等ノ名猶存ス、天正末年、徳川氏入國以來、開墾次第ニ廣リ、有名ノ廣原モ今ハ田畝トナリテ、村里相連レリ、入間川

高麗川共ニ西山ニ出テ、廣野ノ間ヲ流レ、川越ハ
西ニテ合リ、共ニ荒川ニ入ル、川越ハ関東ノ名城
ニシテ、其始ハ西上杉氏ノ争ヒシ處ニシテ、後ハ
北條氏ト上杉氏ト互ニ攻守セシ地ナリ、
荒川ノ東北モ地勢卒カニシテ、東ハ下總、上總ニ
連リ、北ハ上野、下野ニ亘リ、遙ニ常陸ニ到ルマデ、
平遠ナルト五六十里ニ達ス、謂ユル関東八州ノ
野ニシテ、其廣大ナル實ニ日本全國ニ其比ナシ、
利根川、其中間ヲ流レ、西ヨリ来リ分レテ南ニ流
レ、上野、下總ノ境ヲ限リ内海ニ入ル、綾瀨川、中川

ハ、荒川、利根川ノ分流ニシテ、西川ノ間ヲ流レ、舟
運ニ便ナレド、沿岸ノ地多クハ卑濕ニシテ、時々
水害ヲ蒙ルト云フ、
内海ハ即、江戸海ニシテ、東京ノ海岸ハ遠淺ニテ
沙洲多ク連リ、大船ヲ着クルト能ハズ、品川ノ南
ヨリ大森、羽田ノ濱ハ、盛ニ海苔ヲ採リ、製シテ名
産トナス、其本牧ヨリ南ハ、海岸淺カラズ、杉田ノ
梅アリ、花時最盛ナリ、金澤ハ地小ナレド、入江ノ
内、景色頗美ニシテ、共ニ遊人必到ル處トス、
横濱ハ五港ノ一ナリ、羽田、本牧ノ間ニアル入江

東本所五目
ヨリ西内藤町
宿三三三南
川谷山ヨリ地
往大橋三三三
府内大寺町
ノ都ト云フ

ノ南岸ニシテ神奈川ト相對ス、安政六年、始テ此地ヲ開キシヨリ既ニ十六年、外國人ノ來リ住スル者甚多ク、鐵閣石樓何レモ高大ニシテ、其道路ノ正シク、街市ノ整ヒタルヲ、實ニ開港場ノ第一トス、鐵道ヲ東京ニ通ズル七里餘、日々來車スル者萬數ヲ下ラズ、其繁華ハ時ニ盛衰アレ氏、灣内碇泊スル洋船常ニ數百艘アリ、東京ハ三府ノ一ナリ、江戸ト稱シ、徳川氏世々ノ居城ニシテ、幕府ヲ建テ、天下ノ政權ヲ執ル、二百七十年、故ニ諸藩ノ邸宅、悉其内ニアリ、高門

巨館城ノ四面ニ連ル、府下ハ溝渠流通シ、街市繁盛ナリ、日本橋ヲ以テ府ノ中央トナシ、四方四里ト稱ス、南ノ出口ヲ品川ト云ヒ、東海道ノ驛ナリ、西ヲ新宿ト云フ、甲州街道ニシテ、北ノ板橋ハ、中山道及北國筋ノ出口タリ、東北ハ千住ト云ヒ、奥羽、及水戸、磐城ノ街道ナリ、千住ノ大橋ハ、隅田川ノ上流ニ架ケ、川ノ下流ヲ淺草川ト云フ、赤ハ大川ト稱シ、府ノ東ヲ南流ス、此川、古ハ下總ノ境ナリシ故ニ、其中央ニ架クル橋ヲ兩國ト云フ、府ノ盛ナルニ随ヒ、人家ノ次第ニ河東ニ開ケ連リシ

ニ因リ、貞享中遂ニ其地ヲ割キテ此國ニ屬ス、兩國ノ下ナル二橋ヲ新大橋、永代橋ト云ヒ、上ナルハ、腕橋、東橋ト云フ、長各百間計、腕橋ハ元、舟渡ナリシガ、近来始テ架ケシ處ナリ、○慶應三年、徳川氏政權ヲ天朝ニ還シ納ムルヤ、翌年帝都ヲ此地ニ遷シ、東京ト改稱ス、現今ノ人負ハ八十一萬ニシテ、昔時ニ比スレハ其半ヲ減ズト雖、氏支那ノ北京ニ次ギテ、東洋中ノ一大都會ナリ、近来道路ヲ修理シ、屋宅ヲ堅實ニシ、建築ノ業盛ニ興ル、○大川ノ海口ヲ築地ト云フ、内海岸臨シ、開港

場ヲ設ク、外國人ノ居住ヲ許ス、然レモ交易ノ業ハ遠ク横濱ニ及バズ、○日本橋ノ南北ヨリ、兩國橋ノ左右ヲ最繁華ノ處トナス、淺草、上野ノ地ハ遊人常ニ羣集ノ地ニシテ、公園ヲ設ク、縱遊ヲ許ス、其他、芝ノ増上寺、深川ノ八幡社富岡モ亦公園ノ設アリ、隅田川ノ東岸ハ向島ト云ヒ、堤上ニ櫻樹ヲ植エ、花時ニハ都下ノ士女、来リ遊ブ者甚盛ナリ、○府下ハ古ノ武蔵野ノ東隅ニシテ、四方ノ廣ク開ケタル地ナレバ、烈風常ニ多ク、且井水、殊ニ宜シカラズ、故ニ多摩川、及井頭池イノカシラノ水ヲ引キ、地底

ニ水道ヲ通シ市中ニ井ヲ置キ是ヲ飲料トナス
日本橋以南ハ河水ヲ用キ玉川上水ト云ヒ溝ヲ
疏シテ小金井ヲ過グ此地兩岸ニ櫻樹アリ頗美
觀トス橋北ハ池水ヲ用キ神田上水ト云フ井頭
ハ小金井ノ北ニアリ池水ノ清冷ナル玉川ニ劣
ラズト云フ

安房ハ四郡ニシテ平群安房朝夷長狹ト云フ
大洋中ニ突キ出デタル國ニシテ北ハ上總ニ接
シ其他三面ハ海岸高ク連リ海上ニ岩石多ク立
ツ最南ノ地ヲ白濱ト云ヒ其岬ヲ野島崎ト云フ

源頼朝ノ相模ノ石橋山ニ敗ル真鶴崎ヨリ舟ニ
乗リテ此國ニ逃レ来リシハ此地ナリト云フ其
東洋ニ向ヒタル邊ハ潮流殊ニ急ニシテ舟行ノ
一難處ナリ是ヲ房州沖ト稱シ相戒ムルノ處ト
ス
洲崎ハ白濱ヨリ西ニ出ヅル五里遙ニ伊豆ノ下
田ニ對シ西北ハ相模ノ三崎ト内海ノ口ヲナス
崎ノ東ニ入江アリ館山ノ灣ト云フ灣ノ西北ニ
勝山アリ共ニ碓泊ノ慶トス
國中ハ總テ岩山ニシテ内海ニ臨ミテ富山、鋸山

林相連ル十數里、多ク薪炭ヲ出ス。北方ハ下總ニ
 直リ、廣野遠クシテ殆、境界ナシ、故ニ東洋ノ岸モ、
 大東崎ヲ山野ノ限トナシ、南ハ岸高クシテ勝浦^{カツウラ}、
 興津^{オキツ}ノ二港其間ニアリテ、安房ノ小湊ニ接ス、崎
 ヨリ北ハ一帯ノ砂濱二十里計、下總ニ連リ、其形、
 弓ノ如シ、是ヲ九十九里ノ濱ト云フ、地、大率瘠土
 ニシテ、土人悉漁獵ヲ務ム。
 川流ハ皆南境ニ出ヅ、一ハ大東崎ノ南ニ注ク、大
 多喜川ト云フ、尤大ナリ、然レ其大洋ニ入ルヲ
 以テ河運ノ便、自少シ、他ハ小糸川、小櫃川、養老川

各内海ニ入ル、共ニ舟行ノ上下スル者ニ
 テ、運漕常ニ多シ、木更津^{キツラツ}ハ内海ノ濱ニシテ頗
 繁盛ナリ、遙ニ東京ト相向フ、此邊ハ江戸海ノ尤
 廣キ處ニシテ幅十四里アリ、通船日々其間ヲ往
 來シテ、全國ノ産物皆是ヨリ輸出スト云フ、
 下總ハ十二郡ニシテ、葛飾、千葉、印旛^{インバン}、匝瑳^{ササカ}、海上、
 香取^{カウキ}、埴生^{ウシ}、相馬^{サウマ}、猿島^{サシマ}、結城^{ユツキ}、豊田、岡田ト云フ、
 利根川ハ武蔵上野ノ間ヲ流レ、正西ヨリ來リ、関
 宿ニ到リ分レテ二川トナリ、一ハ南ニ赴キ、武蔵
 ノ境ニ沿ヒテ内海ニ入ル、江戸川ト云フ、古ハ太

井川ト呼ヘリ、本流東ニ流ル、四十里計ニシテ、
天絹川、小貝川コカヒヲ并セ、常陸ノ境ヲ限リ、銚子口ニ
注久、此地ハ東洋ノ湊ニシテ、街市ハ飯沼、松岸マツギシノ
數村相連リ、頗繁盛ノ處トス、海口ハ巨岩聳エ立
チ、水流相觸レテ迸リ出ヅ、故ニ銚子口ト名久、犬
吠崎突キ出テ、岩礁海中ニ並ビ立チ、舟行甚危シ、
此川ハ源ヨリ海口ニ至ル凡七十里、下流ニ至リ
テハ河幅ノ太ナルヲ殆一里ニ及ズ、其河運ノ盛
ナル日夜絶エズ、關東第一ノ大河ニシテ、坂東太
郎ノ稱アリ、

此國ハ地形ノ平ナルト他國其カナシ、山ナク又
岩石ナク、謂ユル八州ノ野ノ中央ニ横リ、東西三
十里計、南北ハ是ニ半ス、原野遠ク連リ、小金原、六
方野等、各廣七八里アリ、昔時ハ牧場十一處ヲ置
キ、春秋ニ數百匹ノ馬ヲ捉フ、是ヲ馬取ト云フ、其
法極テ盛ナリ、近来多ク閑墾ニ就クト云フ
東ハ大洋ニ向ヒ、犬吠崎イヌノハヨリ南ニ且ル、即九十九
里ノ濱ニシテ、正南ハ内海ニ臨ム、船橋、千葉ノ諸
邑アリ、兩海濱ノ間ハ平野直ニ上總ニ接ス、西北
ハ大河ニテ限リタレド、川ノ北ニ猿島、結城ノ數

郡アリ、下野ト土地相交リ、其境界、殆山川ノ限ナ
シ、絹川北ヨリ来リテ郡間ヲ貫キ、小貝川モ亦同
ジク流レテ常陸ニ沿フ、猿島ニ相馬將門僭號ノ
趾アリ、廣島山モ今ハ只島トノミ唱フ、
利根川ノ沿岸ノ地ハ、殊ニ卑濕ニシテ沼澤甚多
シ、河南ニ印幡沼、手賀沼、長沼アリ、河北ニ鷓戸沼、
長井戸沼、飯沼等アリ、印幡沼尤大ナリ、其形屈曲
シテ國ノ中央ニ亘リ、六七里ニ連ル、白井ノ勝花
鳥山等アリ、沼ノ南ヲ佐倉ノ城市トナシ、其東ニ
當リテ成田ノ不動堂アリ、香火甚盛ナリ、而テ利

根ノ南岸ナル香取ノ社ハ殊ニ大社ニシテ、奉祀
極テ嚴ナリ、
常陸ハ新沼、真壁、筑波、河内、信太、茨城、鹿島、行方
那珂、久慈、多珂ノ十一郡アリ、
當國ハ関東八州ノ東隅ニシテ、海濱凡三十七里
全ク東洋ニ向ヒ、内ハ沃土相連リ郡郷相接ス、古
日高見ノ國ト稱セシ者是ナリト云フ、
那珂川ハ下野ヨリ来リ水戸ヲ過ギ、仙波沼、廣沼
ノ水ヲ并セ直ニ大洋ニ注グ、河口ヲ中湊ト云フ、
那珂ハ中ナリ、此川ハ大率國ノ中央ヲ横ニ絶チ

テ東ニ流ル、川ヨリ北ハ下野、及磐城ニ接シ、其久
慈川ノ北ハ群山打重リ、ヤミヅ八溝、鳥子ノ諸山、國境ヲ
困ミタリ、久慈川ハ源ヲ磐城ニ發シ、更ニ八溝山
ヨリ出ヅル者ヲ并セ南ニ下リ、折レテ東ニ赴キ、
里川ヲ并セテ大洋ニ入ル、
金砂山カササハ東西兩山アリ、西山尤險ナリ、昔佐竹冠
者義秀ノ據ル處ニシテ、源賴朝是ヲ攻メテ拔ク
能ハズ、遂ニ反間ヲ用テ、其功ヲ得タリト云フ、
南ニ太田城址アリ、即佐竹氏世々ノ居城地ナリ、
兩山ノ北ハ、ツキオレ月居男體ノ諸山亦高峻ニシテ、男體

ハ、昭富士ト呼ブ、月居ノ麓ニ袋田ノ瀧アリ、高五
十丈、飛流、三段ニ分レ、極テ雄壯ニシテ、其大ナル
下野ノ華嚴ケゴエンノ瀑布ニ次グト云ハ、○海岸ハ高
鈴山高ク峙チ、沿海ノ地ハ田疇少ク、民皆漁獵ヲ
業トスル、北隅ヲ平瀨ト云フ、灣内狭少ナレ
氏、東洋中ノ良港ナリ、
那珂川ノ南ハ平野數十里ニ亘リ、南ハ利根川ヨ
夾ミ、北ハ小貝川ヲ限リテ、共ニ下總ニ接ス、
筑波山、平野ノ間ニ獨立シ、雙峯並ビ聳エ、男體、女
體ト云フ、蘆穂アサヅキ加波カハノ兩山其後ニ屬ス、此山ハハ

州平遠ナル間ニ峙ツ高山ニシテ、西ニ富士峯、北ニハ筑波ト並ベ稱セラル、名山ナリ、美那濃川ハ西峯ヨリ出テ東南ニ流レ、櫻川ト云フ、土浦ノ南ニ至リテ霞浦ニ入ル、霞浦ハ大ナル湖ニシテ、東西八九里、南北十三里、其周回三十六里アリ、近江ノ琵琶湖ニ次ギテ、日本第二ノ湖水ト云フ、西岸ニ二ノ入江アリ、南ヲ江戸崎ト云フ、其江口ニ浮島アリ、北ハ即土浦ナリ、湖水ノ東ニ流レ出ヅル處ヲ牛堀、潮来ト云フ、利根川、其南ヲ流レ、村里悉ク水ニテ繞リ圍ミシテ

下、總ノ湖六島ト云ヘリ、○北浦モ亦一ノ湖水ニシテ、霞浦ノ東ニアリ、南北七里、其幅十里ニ過キズ、鹿島郡其東ヲ横リ、行方郡北ヨリ出テ、西湖ノ間ヲ限ル、故ニ郡中ニテハ霞浦ヲ西浦ト唱ス、其北浦ノ稱ハ、蓋鹿島ヨリ是ヲ呼ブ者トス、西湖水相合フ處浪逆ノ海ト云フ、蓋海潮満チ来ル時ハ其水逆流ス、故ニ此名アリ、平時ハ南流シ、銚子ノ口ニ注ク、鹿島一郡大洋ニ面シ、北浦ヲ脊ニシ、其地甚狭ク、東南ニ突キ出テタル砂山アリ、東下リ云フ、即下

總ノ犬吠崎ト相對シテ、銚子口ノ北ヲ限ル處ナ
 リ、其海濱ハ平砂一帯、中湊ニ至ル十八里、魚鹽ノ
 利尤多シ、○鹿島神社ハ、伊勢熟田ニ次グ古社ニ
 シテ、南ニ息栖神社アリ、下總ノ香取社ト共ニ、關
 東ノ三大社ト稱ス、
 全道山海ノ産、極テ多ク、而テ製造ノ品モ亦盛ナ
 リ、其駿河以西ハ、沿海ノ地、氣候温暖ニシテ、茶、木
 綿ヲ産ス、駿河ノ安倍茶、伊勢ノ菰野茶甚盛ナリ、
 尾張、三河ハ地尤木綿ニ宜シ、尾張ノ米、其精良ナ
 ル、諸國ニ冠タリ、伊勢ハ菜種油、茶ニ次ギテ多

ク出ヅ、蠟、漆、藍、烟草ノ産、各國共ニ下リ、桑ヲ植立
 テ蠶ヲ養ヒ、海ヲ烹テ鹽ヲ製ス、到ル處其業ヲ務
 ム、宮重大根ハ獨尾張名物ノ名ヲ占メ、濱名納豆
 ハ特ニ遠江ノ異味タリ、秋葉、鳳來諸山ノ間ハ、椎
 茸ヲ以テ名品トシ、伊賀モ多ク、松茸ヲ出ス、而テ
 知多ノ一郡魚鹽ノ利、殊ニ盛ニシテ、全道第一ノ
 沃土ナリ、志摩ハ真珠ヲ以テ名産ニ誇ルモ、鰹、鰯、
 蝦、鮓ノ産、石花菜、鹿角菜ノ品、却テ有用ノ名品タ
 リ、伊勢ノ海ニハ、桑名ノ白魚、蛤ヲ稱シ、三河ノ内
 海ハ、佐久島ノ海鼠腸ヲ推ス、駿河ノ灣ニ興津鯛

アリ、山、出ス處ハ伊賀ノ磨砒、伊勢ノ銅、石灰、尾張ノ水晶、石炭、三河ノ三州御影、名倉砒石ニシテ、材木ハ諸國共ニアルモ遠江殊ニ盛ナリ、山中ハ悉杉林ニシテ、伐リテ天龍川ヲ下ス者常ニ絶エズ、角柱、屋板最夥シ、ハシノキノミ赤楊子ト稱スル者亦此國ノ名品トナス、製造ノ品ハ津鯨子、松坂縞、鳴海絞、掛川葛布等アリ、遠江ノ疊表、駿河ノ半紙亦多ク出ヅ、酒味噌ノ製造ハ共ニ盛ナリ、酒ハ尾張ヲ推シ、味噌ハ伊勢三河ヲ好シトス、燒物ハ尾張ノ瀬戸ヲ第一トス、故ニ陶器ヲ呼ブニ瀬戸物ヲ以テス、

伊賀ニ上野燒、伊勢ニ萬古燒アリ、尾張又常滑燒アリ、名古屋ハ製産甚多ク、扇、堤灯尤有名タリ、駿府細工ハ竹器ノ極テ精美ナル者ニシテ、伊勢ノ白子ヨリ出ス處ノ形紙ト稱スル者ハ、廣ク諸方ニ賣リ鬻キテ、全國中ノ漆工是ヲ用キザルナシ、而テ稻水ノ紙烟袋モ其名諸方ニ聞エタリ、甲斐ハ山間ニ夾リ、金礦甚多ク、其兩畑石ト稱スル者硯ニ造リテ盛ニ出ス、葡萄、柿、栗、梨、桃、銀杏、石榴、林檎ヲ甲州ノ八珍果ト云フ、其郡内ハ養蠶甚盛ニシテ、海氣絹ヲ名産トス、紬、太織亦從ヒテ出ヅ、伊

地誌要略 卷之二 尾

豆ハ海中ニ出テ海産珠ニ多ク、陸ニ樟材、蜜柑アリ、天城ノ山葵、熱海ノ雁皮紙等、天生人造共ニ佳ナリ、七島ハ椎實、桑板、黄楊等アリ、魚ハ鹽干ニシテ是ヲ輸出ス、八丈ノ絹ハ精巧ニシテ、他國ノ模造甚多キモ、遂ニ其巧ヲ奪フ能ハズ、關東ハ地勢漸變シテ、産物モ亦大同小異アリ、相摸ハ小田原ノ梅干、及鹽辛、鎌倉ノ海老、鰹、浦賀ノ水銘等ハ人ノ知ル所ナリ、湯本ニ寄木細工アリ、江島ニ貝細工アリ、根府川石、小松原石等盛ニ出ス、而テ陸ニハ紅花ヲ植エ、山ニハ榛ヲ採ル、海岸ハ海獵頗盛

ニシテ三浦最夥シ、安房モ海濱ハ漁獵ヲ務メ、山中ハ薪炭ヲ業トス、房州沙ト称スル者多ク、四方ニ運出入、水仙花ノ野生ニシテ盛ナルハ、地勢温暖ノ然ラシムル處、如上總ハ野ニ茶、紅花ノ産アリ、山ニ薪炭ノ産アリ、外洋ノ濱ハ鱒網ヲ最第一トナシ、内海ハ五井、水更津ノ濱ニ立干ト称スル者、實ニ海獵中ノ一奇觀ナリ、下總ノ馬ハ有名ノ産ニシテ、其茶ヲ出ス、近来頗盛ナリ、流山ノ味酥野田ノ醬油、他産多キモ、其上ニ出ヅル能ハズ、佐原ノ酒、行徳ノ鹽モ、亦是ニ次ギテ佳品タリ、佐倉

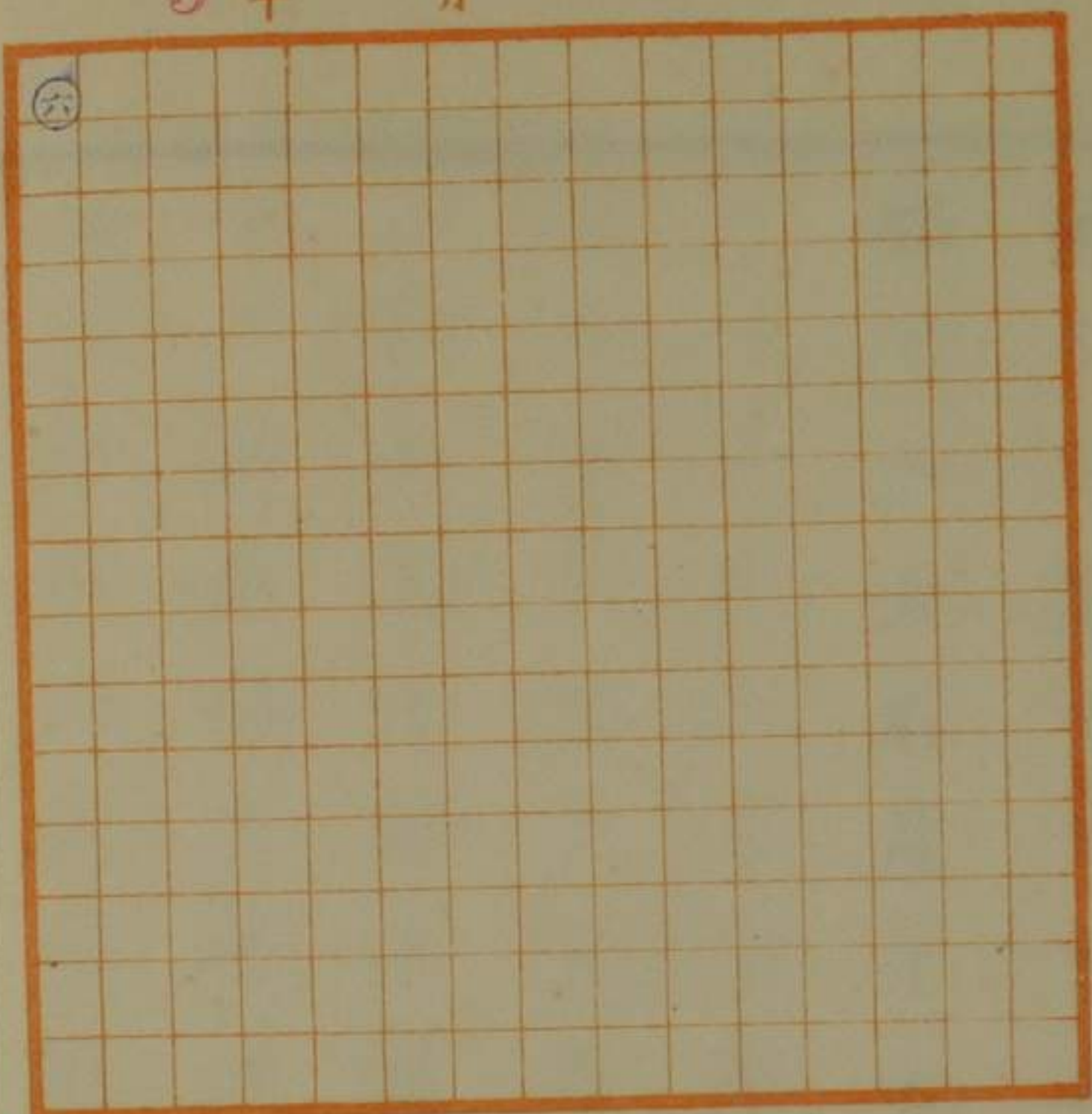
炭、及、蒟蒻、結城紬、及、水綿、其名甚高、シテ其品實ニ
良ナリ、而テ銚子ノ濱ノ鰯ハ、其業極テ盛大ニシ
テ、九十九里ノ網スル所、鹿島浦ノ漁スル所、悉此
地ニ聚メ、以テ魚油トナシ、以テ干鰯ホシカトナシ、四方
ニ輸出スル者幾十萬石ナルヲ知ラズ、實ニ東洋
ノ一大産物ニシテ、土人ハ鰯様、鰯殿ノ諺アリ、此
地又縮ノ産アリ、常陸ハ石炭ヲ出シ、烟草ヲ産ス、
西内紙、粟、野膳等製作甚多シ、筑波ノ山根ヨリ産
スル所ハ大豆ハ、本種ト称シテ諸國ニ冠タリ、海
濱ハ魚塩ノ利ニ總ニ下ラズ、其霞浦、西浦、両湖ノ

鰻、鯉、那珂、久慈二川ノ鮭、鮎亦賞ス可シ、而テ利根
川ハ河産極テ多ク、本流ハ鮭ヲ以テ名産トシ、江
戸川ハ鯉ヲ以テ最美トス、其沿岸ノ湖沼ハ、鯉、鮎、
鯰、鰻等産セザルナシ、武蔵ハ秩父絹ヲ第一トス、
八王寺、五日市皆織物ヲ以テ盛業トス、川越平、玉
川唐紙、及河口ノ鑄物、亦製造品ノ良ナル者ナリ、
秩父ハ銅礦アリ、地又烟草ニ宜シ、其品、常陸ニ敵
ス可ク、多摩川ノ鮎、亦諸方ニ冠タリ、杉田ノ梅實
ハ小田原ニ對ス可ク、大森ノ麥藁細工ハ、江島ノ
貝細工ト一般ニシテ共ニ兎戯ノ具ノミ、江戸鮎

巳 五 九

5年 月

六



色、淺草海苔ノ味、比ス可キ者ナク、競フ可キ者
ナシ、東京ハ象牙、鼈甲ハ諸細工、錦繪、團扇等ノ類、
極テ精巧ニシテ且美麗ナリ、而テ山河萬里ノ物、

求メテ到ラザルナキ、是ヲ盛
ス、
海
山
河
萬
里
ノ
物
、
求
メ
テ
到
ラ
ザ
ル
ナ
キ
、
是
ヲ
盛
ス
、
海
山
河
萬
里
ノ
物
、
求
メ
テ
到
ラ
ザ
ル
ナ
キ
、
是
ヲ
盛
ス
、

色、淺草海苔ノ味、比ス可キ者ナク、競フ可キ者
ナシ、東京ハ象牙、鼈甲ノ諸細工、錦繪、團扇等ノ類、
極テ精巧ニシテ且美麗ナリ、而テ山河萬里ノ物、
欲シテ得ザルナク、求メテ到ラザルナキ、是ヲ盛
都ノ一大名産トナス、

山ノ新産物、其ノ味、比ス可キ者ナク、競フ可キ者
ナシ、東京ハ象牙、鼈甲ノ諸細工、錦繪、團扇等ノ類、
極テ精巧ニシテ且美麗ナリ、而テ山河萬里ノ物、
欲シテ得ザルナク、求メテ到ラザルナキ、是ヲ盛
都ノ一大名産トナス、

